

患者満足度に影響を与える医療施設特性の探索と評価

厚生労働省による受療行動調査、患者調査、医療施設調査を突合したデータセットを用いて患者満足度に影響を与える医療施設特性の調査とその強さの評価を行うことを目的として昨年度から続く研究において、特定機能病院、大病院、中病院、小病院、療養病院という5カテゴリーの施設間において、患者の満足度に影響を与える因子に差がある可能性の検討がなされており、本研究では、施設間での満足度に影響を与える因子の違いを見る。

満足度の解析に当たり、受療行動調査における、待ち時間への満足度や診療内容への満足度など、種々の満足度と、全体満足度の相関を調べ、全体満足度が患者の満足度を表すこととの妥当性を検討する。

さらに、全体満足度の数値によって、患者を不満あり、不満なしの2カテゴリーに分類し、それを目的変数として、病院の開設者、受動喫煙防止対策、医療安全体制責任者、緩和ケアチームの有無、新人研修、委託の状況、院内感染施設内回診頻度の7因子を説明変数として、特定機能病院、大病院、中病院、小病院、療養病院それぞれについてロジスティックモデルを立て、分析を行う。